

第 40 回えいが部「鳥」(原題: The Birds) (1963)

サンフランシスコの小鳥屋で九官鳥の受け取りを待っていたメラニーは、幼い妹の誕生日プレゼントを探して来店したミッチと出会う。メラニーは彼が帰省している小さな港町へ小鳥を持って向かう。彼の家から町へ戻る途中でカモメに襲われたメラニーだったが、しばらく滞在する事になる。教師アニーの家で一晩過ごす、夜中に彼女の家のドアにカモメが激突して死ぬという不思議な事が起こる。次の日カモメが次々に人間を襲い始める。翌日、鶏の餌を作っているダンの元を訪れたリディアは、鳥に襲われて亡くなった家主の姿を発見。心配をするリディアのために学校へ行ったメラニーは校庭に集まる異常な数の鳥を見つけ、子供たちも襲われ、キャシーを庇ったアニーは鳥に殺されてしまう。メラニーは立ち寄った食堂で住民と会話中、怯えた住民から全てメラニーの責任だと言いがかりをつけられる。その日の夜、またもやブレナー宅を恐ろしい数の鳥が襲う。病院へ向かうために外に出ると、そこには恐ろしい光景が広がっていた。

原作 ダフニ・デュ・モーリエ

・埋もれた青春 Jamaica Inn (1936) ヒッチコック監督『巖窟の野獣』原作

・レベッカ Rebecca (1938)

・鳥 The Birds and Other Stories (1963) (The Apple Tree の再出版バージョン)

務台夏子訳、東京創元社〈創元推理文庫〉2000年。

監督 アルフレッド・ヒッチコック

1925-39 : イギリス時代。以下は全てアメリカでの作品

・1940 レベッカ(Rebecca) アカデミー作品賞

・1941 断崖 Suspicion

・1945 白い恐怖 Spellbound

・1946 汚名 Notorious

・1948 ロープ Rope

・1954 ダイヤル M を廻せ! Dial M for Murder

裏窓 Rear Window

・1955 ハリーの災難 The Trouble with Harry※

・1956 知りすぎていた男 The Man Who Knew Too Much

・1958 めまい Vertigo

・1959 北北西に進路を取れ North by Northwest

・1960 サイコ Psycho

・1963 鳥 The Birds

・1972 フレンジー Frenzy

・1976 ファミリー・プロット Family Plot

出演 メラニー・ダニエルズ／ティッピ・ヘドレン

- ・1963 鳥 The Birds メラニー・ダニエルズ
- ・1981 ロアーズ Roar マデレーン
- ・1990 パシフィック・ハイツ
- ・1993 新・鳥 The Birds II: Land's End ヘレン テレビ映画
- ・2004 ハッカビーズ I Heart Huckabees メアリー・ジェーン・ハッチンソン

ミッチ・ブレナー／ロッド・テイラー

- ・1954 宝島
- ・1956 ジャイアンツ Giant デヴィッド・カーフリー卿
- ・1958 旅路 Separate Tables チャールズ
- ・1960 タイム・マシン 80 万年後の世界へ H・ジョージ・ウェルズ
- ・1973 大列車強盗 The Train Robbers グレイディ
- ・2009 イングロリアス・バスターズ Inglourious Basterds ウィンストン・チャーチル

リディア・ブレナー／ジェシカ・タンディ

- ・旅愁 September Affair (1950)
- ・ガープの世界 The World According to Garp (1982)
- ・コクーン Cocoon (1985)
- ・ニューヨーク東 8 番街の奇跡 Batteries not Included (1987)
- ・ドライビング Miss デイジー Driving Miss Daisy (1989)
- ・フライド・グリーン・トマト Fried Green Tomatoes (1991)
- ・カミーラ/あなたといた夏 Camilla (1994)

原作であるダフニ・デュ・モーリエの短編『鳥』の概要

イギリスの海辺に住む元軍人の主人公は、ある日突然に鳥が人間を襲うことを目撃します。危険を感じて、窓という窓を全部塞いだ一家は、一時的に助かります。周りの人々は全滅です。理由がわかりません。政府が偵察のために送った飛行機隊も鳥の大群で墜落してしまいました。通信も遮断され、食料も尽きそうで、助けも得られず、再度鳥が襲撃をすれば、一家の運命は絶望的です。鳥の襲撃により、文明が破滅の危機に瀕する恐怖を描いた小説です。

原作の舞台は海の近くで、主人公は一軒家に住む 4 人家族の主である。

原作における鳥が人間を襲う理由は「厳寒によるエサの激減」です。でも映画では鳥が人間を襲う理由は明らかにされていない。原作の大筋は「家に立て籠もった一家が、防御を固め鳥の襲撃に耐える」というものです。